チャレンジシート① 学ぶ

単元	年組番
三年下　れいをあげてせつめいしよう 「食べ物のひみつを教えます」	氏名

学習日　年　月　日

食品のれいをあげて、食べ物のひみつについてせつめいする文章を書くときは、次のことに注意しましょう。

せつめいする文章を書くときは、次のことに注意しましょう。

★ **文章の組み立てを考える。**

○ まず、「はじめ」「中」「終わり」に大きく分ける。

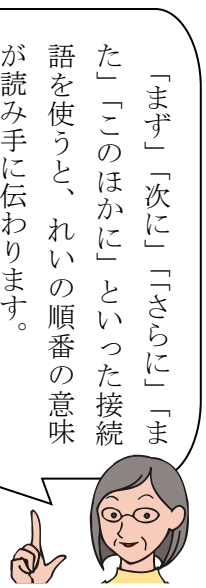
（赤色の部分）

○ ないようのまとまりごとに、段落を分ける。

（青色の部分）

○ 左の表のように書きたいことを整理すると、文章が組み立てやすくなる。

はじめ	中	終わり
自分がせつめいしたい「食べ物」について書く。 ・ 米は、イネのたね ・ 米の作り方　など	おいしく食べるくふうと、食品のれいを書く。 ・ その形のままたく―ごはん ・ むす―もち ・ こなにする―白玉　など	まとめを書く。「このように」という言葉でつなぐと書きやすい。



いろいろなすがたになる米

北九州　太郎

はじめ

① 米は、イネという植物のたねです。たねのまわりには、もみがらというからがついています。もみがらをとるとき、種皮と胚芽をとりのぞいたものが、わたしたちが毎日食べている米です。かたい米は、そのままでは食べにくく、消化もよくありません。そのため、昔からいろいろ手をくわえて、おいしく食べるくふうをしてきました。

中

② まず、米をその形のままたいて食べるくふうがあります。米をといで、水につけてからたくと、ごはんになります。

③ 次に、むして食べるくふうがあります。もち米という米をむして、うすときねでつくと、もちになります。もちつきのきかいを使うこともあります。

④ さらに、こなにして食べるくふうもあります。もち米をこなにしたものに、水を入れて練ります。それをゆでると、白玉になります。

終わり

⑤ このように、米はくふうされて、いろいろなすがたになって食べられています。こんなにも食べ方がくふうされてきたのは、米が味もよく、からだに必要なえいようを多くふくんでいるからです。米のよいところに気づき、食事に取り入れてきた昔の人々のちえにおどろかされます。

チャレンジシート② きほん

単元	年 組 番
三年下　れいをあげてせつめいしよう 「食べ物のひみつを教えます」	氏名
	7問

学習日　年　月　日

★ 次の作文を読んで、答えましょう。

魚は、昔から日本で多く食べられてきました。そのため、魚には、いろいろな食べ方のくふうがあります。

① ア ほして食べるくふうです。ほすと、長くほぞんできます。いかを太陽の光に当ててほしたものが、するめです。ふかひれは、サメのひれをほしたものです。

② イ 小さい魚を生地にまぜて焼いて食べるくふうがあります。すりつぶしたえびを生地にまぜてうすく焼いたものが、えびせんべいです。

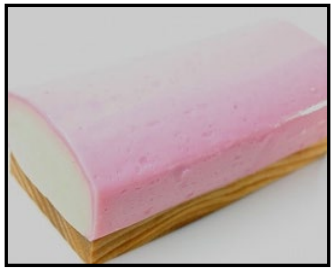
③ ウ 魚のすり身を練ってちがう食品にするくふうです。すり身を板につけてむしたものが、かまぼこです。すり身をぼうにまきつけて焼いたものが、ちくわです。

エ 魚は、くふうされていろいろなすがたになって食べられているのです。えいようたっぷりの魚をたくさん食べてください。

1 ア ～ エ に合うことばを線で結びましょう。

ア ●　●次に
イ ●　●このように
ウ ●　●まず
エ ●　●さらに

2 ①～③に合う写真に番号を書きましょう。



チャレンジシート③　ジャンプ

単元	年　組　番
三年下　れいをあげてせつめいしよう 「食べ物のひみつを教えます」	氏　名
	4問

学習日　年　月　日

1　組み立て表を見て、①　②　に入る文章をつくりましょう。

牛乳（にゅう）は、子牛を育てるために母牛が出す乳（ちち）（ミルク）です。牛乳には、いろいろな食べ方のくふうがあります。

まず、牛乳をにて食べるくふうです。さとうを入れてにると、いちごやかき氷にかけて食べる練乳になります。

①

②

かびの力をかりたものが、チーズです。種類によっては、一年以上かけて作られるものもあります。

このように、牛乳は、くふうされていろいろなすがたになって食べられているのです。えいようたっぷりの牛乳をすきになってください。

【組み立て表】

はじめ	中	終わり
○　牛乳についてせつめいする。 ・　母牛が出す乳が牛乳	○　牛乳をおいしく食べるくふうと、食品のれいを書く。 ・　にる（練乳） ・　えいようを取り出す（生クリーム・バター） ・　目に見えない小さな生物の力をかりる（ヨーグルト―乳酸菌（にゅうさんきん））	○　まとめを書く。

①　次に、（　　）食べるくふうがあります。取り出した後、かきまぜて作られたものが、（　　）や（　　）です。

②